

強靱で持続可能な農業食料システム構築に向けて
～フードサプライチェーンにおける食品産業の貢献～

強靱で持続可能な農業食料システムを構築するためには、農業生産現場を含むフードサプライチェーンにおいて、気候変動対応や生物多様性保全等の自然資本の維持・回復や人権尊重への対応等の持続可能性に配慮した取組を行うとともに、それらに配慮した企業の取組や商品を消費者が評価し、購入し、又は応援する環境を創り出す必要があります。

この環境を創り出す推進力は、製造、流通、小売等のさまざまな立場からフードサプライチェーンをつなぐ食品産業にあり、生産から消費に至るステークホルダーの理解と協働の取組を進めることが重要です。

このことを踏まえ、今回のセミナーでは、主要な食品企業によるフードサプライチェーンにおける農業生産現場との協働の取組や、国連の農業開発機関である国際農業開発基金（IFAD）と企業の連携による途上国の小規模農家に対する持続可能な農業生産に係る支援の取組を世界に発信するとともに、強靱で持続可能な農業食料システムの構築に向けた更なる連携の方向性について意見交換を行います。

1. 日時：4月21日（金）13：30～15：00

2. プログラム

（1）開会挨拶 農林水産省

（2）プレゼン （60分）

- ・味の素株式会社 取締役 代表執行役社長 最高経営責任者 藤江 太郎
「持続可能なフードシステムに向けての取り組み～タイのキャッサバ農家支援～」
- ・明治ホールディングス株式会社 代表取締役社長 CEO 川村 和夫
「メイジ・カカオ・サポート」によるカカオ農家支援活動
- ・国際機関（調整中）
- ・G7 各国の民間企業（調整中）

（3）パネルディスカッション（25分）

モデレーター：大村朋子

パネリスト：

- ・味の素株式会社 取締役 代表執行役社長 最高経営責任者 藤江 太郎
- ・明治ホールディングス株式会社 代表取締役社長 CEO 川村 和夫
- ・国際機関（調整中）
- ・G7 各国の民間企業（調整中）